

# 県ジュニア学童野球選手権予選規定

この予選規定はベスト16（予定数）まで適応する規定とします。  
本戦大会に関しては別規約にて運営となります。

## 1. 選手登録について

- (1) 予選リーグは、25名まで登録可能。大会期間中での変更・削除は認めません。  
ただし、登録選手が25名未満であれば追加は認める。監督・コーチも同様とする。

## 2. 試合時間・会場について

- (1) 両クラブ協議の上、決定してください。球場代など、試合にかかる予算も両クラブで負担願います。

## 3. 試合進行

- (1) 野球競技区画線（学童部）塁間23m、投手間16m、固定ベース（移動ベース可）で行います。試合球はC号球で行います。※大会公認球はトップボールですが、予選は他社ボールでも可能。
- (2) ベンチは、ホームチームが一塁側、アウエーチームが三塁側。
- (3) 主審・塁審の4名は、両クラブより2名ずつ派遣。主審（アウエー）・塁審（ホーム2名・アウエー1名）の体制を推奨する。当日の状況にて適切な対応をお願いします。  
**※予選の主審・塁審のジャッジは、両クラブの代表者または監督が了解して試合開始した時点で、試合中の判定への批判・反論は出来ないものとする。審判を務める者にミス判定があった場合は、審判4名の協議の上、公平な判定を行う。**
- (4) ボール・ロジン等の試合で使用するものは両クラブで準備する事。
- (5) シートロック等は、両チーム協議のうえ実施する。
- (6) ベンチに入れる人員は、代表責任者1名（成人）・監督1名（成人）・コーチ2名（成人）・スコアラー（小学生可）・登録選手25名以内とする。
- (7) 全試合7回戦。3回以降10点差。5回以降7点差のコールド制を採用する。
- (8) 7回終了時引き分けの場合、**1アウト満塁・継続打順**の特別延長を行う。
- (9) 雨天や災害等で試合進行が困難な場合は、4回終了時点で試合成立とする。
- (10) 4回終了までの試合続行が不可能となった場合は、別日に継続試合を採用する。
- (11) 試合進行にあたり、項目以外は2018年公認野球規則・競技者必携を準用する。

## 4. 取決め事項

- (1) ユニホームは、必ずチームで統一したものにしてください。監督・コーチもユニホームを必ず着用してください。指導者はトレーニングシューズを可能とする。
- (2) 試合前に、グラウンドルールを審判より明確に説明してから行うこと。
- (3) 無登録選手を出場させた場合、没収試合として違反を犯したクラブの敗戦とする。  
また当日交換するメンバー表への記入漏れも同様の対応として没収試合とする。  
選手の重複出場があった場合は、対象クラブは大会辞退とする。
- (4) スポーツ保険等は、各クラブで加入してください。

## 5. 大会本部より

予選は参加チームの皆様のご協力が必要です。連絡者は事前に連絡を取り合い、円滑な日程調整・試合進行に努めていただけますようお願いいたします。苦情が多いチームに関しては、本部より指導させていただきます。不適格と判断した場合は、辞退とさせて頂く場合がありますのでご注意ください。また予選・本戦含めまして、指導者は大会規約に関して熟読して頂き、試合・大会進行の妨げになる行為・本部や審判の指示に反する行為をされる指導者に関しては、退場処分とさせていただきます。